

居場所や関係性をつくり、不安に寄り添うことで、生活を支える

今号は、精神障害のある方の日常の暮らしを支える活動について、「よこすか障害者地域活動支援センターアメグスト」相談員の本橋健太さんにお話を伺いました。

埋められない不安感

アメグストは、平成十一年に横須賀市内の精神障害のある方々の居場所づくりから活動を始めました。現在は、相談支援やフリースペースの運営、病院からの退院支援などを行っています。

相談支援は、日曜・祝日を除く正午から午後七時まで。作業所や仕事に通っている人、薬の影響で午前中は活動的でない人などから、午後から夜間にかけての対応を望む声が多かったので、こうした時間となっています。

「日によって症状が変わるなどで、障害に対する周囲の理解は未

だ低い状況です。そうしたこともあり、人との関わりがうまくいかなかったり、仕事を続けられなくなる方も少なくありません。がんばって生活したいと思っっているのですが、始めの一步を踏み出すことに難しさを感じている方もいます」と本橋さん。多くの方は、人間関係での悩みを抱え、自分が孤立してしまうのではないかという不安感を、なかなか埋められない状況にあります。

気持ちに寄り添うことが

アメグストでは、精神障害のある当事者のスタッフも重要な役割を担っています。フリースペース



家庭的な雰囲気もあるフリースペース。ゆっくり安らげる場所として年間延数4310名の利用がある

担当の当事者スタッフは、「同じ境遇にいてもあり、普段、何気ない会話をしながら共感をもって悩みを聞けるため、ごく自然な流れの中で、必要な制度やサービスにつなげられる」と話します。

本橋さんは、スタッフと利用者の関係について「価値観を押し付けないよう注意することが必要と思っっています。本人に伝えることは、あくまでも選択肢の提示であることが大事」と、本人のやる気や希望を見出す関わり方をしています。当事者同士がお互いに支え合える関係を作れるよう、本橋さんなどの支援者が寄り添っています。

人とのつながりを感じ、安心感を得て次の一步を踏み出す。そんな場所として、アメグストを「第二の我が家」と話す方もいました。「利用者本位」とは、利用者一人だけを取り出して支援するのではなく、その人のいる場や周囲との関係なども含めて支援していくものなのだ、アメグストの取り組みから改めて感じました。

(企画調整・情報提供担当)

一般家庭から大型ビルまで最新のエレクトロ技術により安心と安全を提供します。

京浜警備保障株式会社

代表取締役社長 **岡本誠一郎**

本社 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町5番地10 金港ビル4F内
☎(045)461-0101 代表 FAX(045)441-1527

神奈川県福祉研究会

(税務・会計の専門家グループ)

- 理事 伊藤 正孝 (☎045-412-2110)
- 同 桑江 郁男 (☎045-402-4433)
- 同 辻村 祥造 (☎045-311-5162)
- 同 西迫 一郎 (☎046-221-1328)
- 同 林 雄一郎 (☎0466-26-3351)
- 代表理事 八木 時雄 (☎042-773-9266)

あなたの情報発信のおてつだい
デザイン・印刷・ホームページ制作



きかんし印刷
株式会社 神奈川機関紙印刷所

〒238-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12
営業部 TEL045(785)1700(☎) FAX045(784)8902
制作部 TEL045(785)1766 FAX045(780)1598
<http://www.kki.co.jp/>